

諏訪実業高校 商業科・会計情報科

新教育課程・新コース制のスタート！

商業科・会計情報科では令和4年度入学生から新たなコース制を導入しました。1年生の前期までは商業に関する基礎的な科目を一斉に学び、後期からは「地域探究コース」「情報探究コース」「会計情報科」を選択してそれぞれの専門分野の学習ができる体制を整えています。

地域探究 コース

地域と直結し、地域の魅力を発信

マーケティングに関する分野を中心に学びます。授業で学んだ知識や技術を活かし地域に出て、実践的で探究的な活動を体験します。商業の幅広い資格取得や地域での活動を活かし、地域のために活躍できる人材を目指します。

情報探究 コース

ビジネスにおける情報処理・活用

情報に関する分野を中心に学びます。コンピュータやネットワーク、プログラミングなどに関する知識と技術を身に付け、情報を活用した探究的な学習を行います。ビジネスにおいてICTを利活用できる人材を目指します。

会計 情報科

会計情報によるお金や企業の理解

簿記会計に関する分野を中心に学びます。私たちの生活に欠かせないお金の知識や、諏訪地域の柱となるものづくりに関わる企業会計の知識・技術を身に付けます。経理、事務、金融などから地域に貢献できる人材を目指します。

「第10回 諏実タウン」10月開催

商業科・会計情報科では諏実タウンという学習行事で、販売実習とキッズビジネスタウンを実施しています。今年度は10月22日（土）・23日（日）に開催します。10回目という節目の年となります。3学年課題研究の授業では諏実タウンに向けて準備が始まっています。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、生徒家族のみ入場としました。2日間合わせて370人余りのお客様と地元小学校からはキッズビジネスタウンに123名の小学生にご来場いただきました。同日に創立100周年式典も実施。同窓生にも、日ごろの学習成果を見ていただきました。



地域連携活動

商業科・会計情報科では、実践的な活動を通して学びを深めています。教室での学習のみならず、地域や諏訪地域産業界と連携した学習活動をすることで、ビジネス現場で活躍できる、知識と態度を学んでいます。

昨年度は以下のような取り組みが行われました。

3年会計情報科（マーケティング）・・・セイコーエプソン様と、松本山雅の新ビジネスプランの提案

3年商業科（マーケティング）・・・上諏訪温泉街組合様と、諏訪湖の清掃活動

2年商業科（商品開発）・・・上諏訪駅前商店街・湖明館通り商店街との交流事業



検定試験への取組

商業科・会計情報科では資格取得に力を入れています。授業のみならず授業担当者による補習や自己学習に意欲的に取り組んでいる様子が見られます。

令和4年3月3日時点在校生の検定状況

○全国商業高等学校協会主催検定 1級合格者数

・情報処理検定ビジネス情報部門	18名
・情報処理検定プログラミング部門	2名
・簿記実務検定	15名
・ビジネス文書実務検定	18名
・商業経済検定	2名
・珠算電卓実務検定 電卓部門	42名
・珠算電卓実務検定 珠算部門	1名
・英語検定	1名

○経済産業省 情報処理技術者試験

・基本情報技術者試験	1名
・ITパスポート試験	5名
・情報セキュリティマネジメント試験	1名

○日本商工会議所

・簿記検定 2級	2名
・簿記検定 3級	45名

○1級取得数

5種目取得者	2名
4種目取得者	2名
3種目取得者	7名
2種目取得者	13名
1種目取得者	34名

この他にも秘書検定やプログラミング能力検定、日商簿記初級、日商原価計算初級などの様々な検定試験を活用して生徒が目標をもって学習に取り組めるような指導をしています。検定試験指導に偏るのではなく、実際の企業の財務諸表分析をしたりマーケティングにおけるプレゼンテーションをしたり、プログラムの作成実習を行うなどもしています。